クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
 企画 イースタンコミュニケーションズ
 印刷 東兄弟印刷所 TEL 0943-24-2111
 八女市祈祷院 5 6 3
 HP: www.wing8.com/dcity-yame/

CALENDAR 2010

10 OCT

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		6	7	8	9	10
		11	12	13	14	15
		16	17	18	19	20
		21	22	23	24	25
		26	27	28	29	30

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
心配ごと相談 (八女市) 八女市社会福祉会館 10月6日・20日 黒木町ふじの里 10月6日・20日 上陽町地域福祉センター 10月13日・27日 立花町かがやき 10月13日・27日 法律相談 (要予約) 八女市社会福祉会館 10月8日 黒木町ふじの里 10月15日 上陽町地域福祉センター 10月22日		司法書士相談 黒木町ふじの里 10月8日 八女市社会福祉会館 10月15日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日/総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日/筑後市立病院	くろぎふるさと日曜日 毎週日曜日 上陽ふるさと市 毎週土曜日		1 8月24日 先勝 ①小 なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館) (八女市地域福祉センター)	2 25日 友引 長 伊勢正三コンサート (サザンクス筑後) いわいゼミナール (岩戸山歴史資料館) ☎23-5524 (徳永) 山村留学稲刈り体験 (矢部村)
3 26日 先負 若	4 27日 仏滅 中	5 28日 大安 中 なんでも人権相談所 (八女市矢部公民館) 松尾弁財天縁日 (立花町)	6 29日 赤口 大 なんでも人権相談所 (八女市役所星野支所)	7 30日 先勝 大	8 9月1日 先負 ①大 なんでも人権相談所 (八女市黒木地域交流センター) 大杉公園祭奉納剣道・相撲大会 (矢部村) べんがらの日 (べんがら村)	9 2日 仏滅 大
10 3日 大安 中	11 4日 赤口 中 体育の日 ベンチャーズサウンドフェスティバル2010 (夢たちはなビレッジキャンプ場)	12 5日 先勝 中	13 6日 友引 中 なんでも人権相談所 (八女市立花市民センター) (筑後市勤労者家庭支援施設)	14 7日 先負 小	15 8日 仏滅 ①小 定例法律相談会 (要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所) ☎22-5161	16 9日 大安 小
17 10日 赤口 長 和ごま選手権 in 八女 9:00~12:00 (鉄道記念公園) ブックひろば2010 なばたとしたか こびとワールド 第3回「古本市」 (八女文化会館1F) 矢部地区体育祭(矢部グラウンド) 広内棚田稲刈り交流事業 (星野村)	18 11日 先勝 若	19 12日 友引 中	20 13日 先負 中 社会保険個別相談会 10:00~15:00 (八女商工会議所)	21 14日 仏滅 大 なんでも人権相談所 (広川町はなやぎの里)	22 15日 大安 大	23 16日 赤口 ①大
24 17日 先勝 大 滝の宮不動尊秋の大祭 滝の宮不動尊縁日ウォーク (八女歩こう会) 一念寺ウォーク (吉田ウォーキングクラブ) 安部龍太郎氏講演会 (大淵小学校)	25 18日 友引 中	26 19日 先負 中 お風呂の日 (べんがら村) (グリーンピア八女) (温泉館きらら) (三加和温泉)	27 20日 仏滅 中 不動産に関する何でも相談会 13:00~15:00 (八女商工会議所)	28 21日 大安 中	29 22日 赤口 小	30 23日 先勝 ①小
31 24日 友引 小						

明確な郵便葉書の消印。62・14・昭和晩年、二十三年前に差しあげた葉書を再見し及ぼうとは「宛先き三藩郡大木町大角井手キヨセ様」当時、黒木町木屋小校長時代。▼去る夏も終りごろ、大川市生涯学習の講師に招聘を受けた。そこへ身ぎれいな老婦人の面会。この日をお待ちであったとのこと。そして手提鞆からとりだされたセピア色に褪せた葉書一枚。あゝ、これはNHK・ラジオ放送「人生読本」で『村の子どもと生きて』といったテーマで話したのを聴取され、母校懐旧の感想をいたゞいた井手さんへの礼状。▼井手さんは小学校卒業後、お手伝い奉公しながら苦学、保健婦の資格を取得、その奮闘の今日まで―その基礎は校区でいちばんの遠距離登下校、幼い一年生の時から風雪に耐えて養われた忍耐力。私は返事に、「こうした卒業生、先輩のお言葉、朝会のおりに子どもたちに話してあげたいと思いました」▼放送では、子どもたちが校庭にそびえていた巨木ラクウショウの散乱する落葉を、早朝、登校すると同時に自発的に竹箒を持って清掃しはじめたいきさつを語ったものであった。▼その感想を寄せられた便りへの私の返事を二十三年余の歲月大切に保存していたゞいていたとは。八十八歳老婦人のほゞ笑み。ありがたいご縁である。

天宮ふんやりの
 二十三年前の
 葉書一枚
 推窓 猛